

# 令和2年度 重点目標の取り組みと成果

## はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大とその対応に追われた1年となりました。本会の事業でも、感染拡大に伴ってやむを得ず中止や延期に踏み切ることもありました。しかし、完全に中止してしまうと、日々の暮らしが立ちいかなくなる事業もあります。そのため、安全対策や危機管理体制を強化し、分散勤務など知恵と工夫を凝らしながら事業の継続に努めました。

また、自粛生活に伴い閉じこもりがちな日々が続く中、誰かに役立ちたい気持ちを形にする「手づくりマスクプロジェクト」を新たに実施しました。市民から約3,000枚を超える手づくりマスクやその材料をご寄附いただき、メッセージカードや飾りを添えて、福祉サービス事業所の職員等に寄贈しました。

さらに、地区社協の協力を得て、「おうちでもデイホームセット」（脳トレ、筋力アップ資料、小物づくりキット、健康情報等）を高齢者等に配布し、介護予防を推進しました。

生活福祉資金の貸付では、通常の制度に加え、コロナに伴う休業や失業者への特例貸付に対応しました。当初は3ヶ月限定でしたが、延長に次ぐ延長が続き、相談対応件数は、例年の約30倍にのぼりました。

児童館（放課後児童会）事業については、児童厚生員が通年欠員状態となるなど、深刻な人材不足が続いています。引続き待遇改善とともに、子育ての拠点としての魅力や働き甲斐のある職場づくりが課題となっています。

令和2年度は、以下の重点目標を掲げ事業を推進しました。

### 1 第3次地域福祉活動計画の推進

令和2年度は20の事業のうち19の事業を取り組みました。しかし、コロナの影響で十分に取り組むことができなかった事業もありました。また、第3次地域福祉活動計画を円滑に進めるため、20の取り組みごとに推進スケジュールを作成し、事務局内で進行管理会議を行いました。外部の有識者による地域福祉活動推進会議で、取り組みの進捗状況を報告しました。

### 2 財政安定化計画の推進

令和2年度は計画の中間年になるため、実施計画を見直しました。実態に合わない目標項目や値を修正し、財源確保策8項目、経費削減策3項目について取り組みを行いました。事務局内で4半期ごとに進行管理会議を行いました。一般会費（世帯会費）については1世帯350円から500円に改定し募集しました。

### 3 権利擁護の拡充

認知症高齢者や知的障がい者および精神障がい者など、金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業と合わせ、法人後見事業を開始しました。家庭裁判所の承認を得て、財産管理等の支援を行っています。

# 令和2年度 事業報告

## I 法人運営事業

<拠点区分1>

### 1 法人運営事業

公益性の高い法人として、透明かつ公正な運営を行うため、理事会で諸課題を協議するとともに、法人運営や会計処理を適正に行うため、法律、会計の専門家の協力を得て適正な運営に努めた。また、財政の健全化を図るため、財政安定化計画実施計画の推進項目に取り組んだ。

#### (1) 三役会 (3回)

- ① 5月25日(月) 福井市社会福祉協議会 会議室
- ② 9月18日(金) 福井市社会福祉協議会 会議室
- ③ 3月8日(月) 福井市社会福祉協議会 会議室

#### (2) 理事会 (7回)

- ① 第1回 5月11日(月) 決議の省略の方法にて開催
  - 第1号議案 令和2年度第1回評議員会の開催について
  - 第2号議案 令和2年度第1回評議員選定委員会の開催について
  - 第3号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
- ② 第2回 5月20日(水) 決議の省略の方法にて開催
  - 第4号議案 副会長の選任について
  - 第5号議案 評議員選定委員の選任について
- ③ 第3回 6月3日(水) 福井市民福祉会館 301号室A・B
  - 第6号議案 令和元年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
  - 第7号議案 令和2年度資金収支第1次補正予算の同意について
  - 第8号議案 令和2年度第2回評議員会の開催について
  - 第9号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会事務局の組織に関する規程の一部改正について
  - 報告事項 理事及び監事の退任に伴う補欠の選任について
  - 第1回評議員選定委員会の結果について
  - 令和元年度財政安定化計画進捗状況について
- ④ 第4回 7月8日(水) 決議の省略の方法にて開催
  - 第10号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
  - 第11号議案 第2回評議員選定委員会の開催について
- ⑤ 第5回 9月28日(月) 福井市民福祉会館 301号室A・B
  - 第12号議案 第三者委員の選任について
  - 第13号議案 令和2年度資金収支第2次補正予算の同意について
  - 第14号議案 令和2年度第3回評議員会の開催について
  - 報告事項 第2回評議員選定委員会の結果について
  - 職務執行状況の報告について

協議事項 財政安定化計画の見直しについて

- ⑥ 第6回 1月8日(金) 決議の省略の方法にて開催
  - 第15号議案 令和2年度資金収支第3次補正予算の同意について
  - 第16号議案 令和2年度第4回評議員会の開催について
- ⑦ 第7回 3月15日(月) 福井市民福祉会館 ボランティアルームA
  - 第17号議案 令和2年度資金収支第4次補正予算の同意について
  - 第18号議案 経理規程の一部改正について
  - 第19号議案 職員就業規則の一部改正について
  - 第20号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
  - 第21号議案 地域福祉基金の一部処分について
  - 第22号議案 令和3年度資金運用計画について
  - 第23号議案 令和3年度事業計画及び資金収支予算の同意について
  - 第24号議案 令和2年度第5回評議員の開催について

(3) 評議員会(5回)

- ① 第1回 5月15日(金) 決議の省略の方法にて開催
  - 第1号議案 理事及び監事の退任に伴う補欠の選任について
- ② 第2回 6月24日(水) 決議の省略の方法にて開催
  - 第2号議案 令和元年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
  - 第3号議案 令和2年度資金収支第1次補正予算の承認について
- ③ 第3回 10月26日(月) 福井市民福祉会館 小ホール
  - 第4号議案 令和2年度資金収支第2次補正予算の承認について
  - 報告事項 第1回評議員選定委員会の結果について
  - 第2回評議員選定委員会の結果について
- ④ 第4回 1月15日(金) 決議の省略の方法にて開催
  - 第5号議案 令和2年度資金収支第3次補正予算の承認について
- ⑤ 第5回 3月26日(金) 福井市民福祉会館 小ホール
  - 第6号議案 令和2年度資金収支第4次補正予算の承認について
  - 第7号議案 地域福祉基金の一部処分について
  - 第8号議案 令和3年度事業計画及び資金収支予算の承認について

(4) 評議員選定委員会の開催(2回)

- ① 第1回 5月20日(水) 決議の省略の方法にて開催
- ② 第2回 7月20日(月) 決議の省略の方法にて開催

(5) 監査の実施

- ① 監事監査 5月19日(火) 福井市社会福祉協議会 会議室
- ② 法人指導監査 2月4日(木) 福井市社会福祉協議会 会議室

(6) 会計事務所による定期訪問監査(4回)

(7) 顧問弁護士の配置

- (8) 職員総数 456名(令和3年3月31日現在)
  - 事務局職員 24名(常勤17名、市派遣1名、非常勤6名)
  - 事業職員 432名(非常勤職員)
    - 児童館(館長、児童厚生員) 83名
    - 放課後児童会支援員 253名
    - 児童クラブ職員(クラブ長、サブリーダー、支援員) 16名

自治会型デイホーム事業専任職員	46名
日常生活自立支援事業生活支援員	30名
地域子育て支援拠点事業専任職員	4名

(9) 自主財源の確保

① 社協活動の説明状況

地区自治会連合会 19回（前年度 31回）

地区社協の総会など

今年度はコロナウイルス感染拡大により書面決議の地区が多数で、本会からの出席はなかった。（前年度 40回）

② 会員会費の募集

会員会費募集の実績

区 分	実績額	前年度との比較
一般会費（年額 500 円／世帯）	33,298,659 円	8,937,301 円
賛助会費（1 口 1,000 円／個人）	9,905,200 円	△283,000 円
特別賛助会費 （1 口 10,000 円／法人・企業）	6,171,900 円	△1,149,774 円
合 計	49,375,759 円	7,504,527 円

※特別賛助会員加入企業数 524 社（前年度 614 社）

③ 寄附金

178 件 1,838,738 円（前年度 132 件 70,318,893 円）

内訳

目標設定型寄附	14 件	83,500 円
その他	164 件	1,755,238 円

④ チャリティー物品販売（中止）

(10) 福祉サービスに関する苦情解決事業の状況

苦情受付件数 19 件（前年度 19 件）

〈苦情申出人の属性区分〉

サービス利用者本人	1 件
サービス利用者家族	9 件
自治会関係者	2 件
事業協力者	2 件
一般市民	4 件
その他	1 件
合 計	19 件

〈苦情の事業区分〉

会員会費募集	2 件
自治会型デイホーム事業	3 件
ボランティア活動推進事業	1 件
放課後児童会事業	10 件
共同募金	1 件
その他	2 件
合 計	19 件

〈苦情の内容区分〉

サービス、ケアの内容に関わる事項	1件
職員の接遇に関わる事項	10件
制度、施策、法律に関わる事項	4件
その他	4件
合計	19件

(11) 広報啓発活動の推進

- ① 社協だより「まごころ」の発行 年4回 各82,500部(全戸配布)
- ② 点訳社協だよりの発行 年4回 各37部
- ③ 音訳社協だよりの発行 年4回 各5本
- ④ 社協のごあんない発行 年1回 19,000部
- ⑤ ホームページでの情報提供 <http://www.fukuic-shakyo.jp/>
- ⑥ Facebookでの情報提供 <https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>
- ⑦ 福井市社会福祉功労者表彰式(市と共催)

開催日 10月30日(金)

会場 福井市民福祉会館 小ホール

- ・市長表彰 18名
- ・市社協会長表彰 6団体76名
  - 社会福祉施設功労者 35名
  - 社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者 5名
  - 優良地区社会福祉協議会 4団体
  - 退職役職員等社会福祉功労者 3名
  - 永年勤続功労者 11名
  - ボランティア功労者 2団体4名
  - 福祉委員功労者 18名

(12) 財政安定化計画の推進

- ① 令和2年度の進捗状況 資料1  
実施計画に基づき取り組み項目、目標値の実現に向けて取り組みをした。
- ② 進行管理会議の開催 4回(7月14日、10月20日、1月22日、3月30日)

(13) 人事評価の実施

事務局常勤職員に対して目標管理による人事評価を行った。

(14) 衛生委員会の開催

労働安全衛生法の規定に基づき衛生委員会を設置し、職場の安全衛生について協議した。(6回)

⑧(15) ストレスチェックの実施

労働安全衛生法の規程に基づき、ストレスチェックを実施した。

実施期間 令和2年12月1日(火)～12月21日(月)

(16) 法人連携の推進

- ① 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会への継続加入
- ② ふく福くらしサポート事業

近隣地域住民の生活上の困りごとに関する総合相談及び経済的支援を行った。

【支援実績】 9回(2名) 【前年度 25回(5名)】

【経済支援実績】 3回(62,999円) 【前年度 6回114,830円】

## 2 基金運営事業

大口寄附金を地域福祉基金、災害ボランティア基金に積立てた。地域福祉基金の一部を取崩し、地区社協活動啓発ふれあい事業に充当した。

### (1) 地域福祉基金運営事業

基金残高 346,086,104 円 (前年度 346,259,468 円)

### (2) 災害ボランティア基金運営事業

基金残高 1,876,258 円 (前年度 1,626,135 円)

## II 地域福祉推進事業

<拠点区分2>

### 1 地域福祉活動推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地区社協を核に、福祉委員、民生委員児童委員、自治会などの関係者に対し、地域づくりに取り組む支援を行った。特に今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、公民館の利用時間の短縮等や対面での声掛けや見守りに制限がある中で、各地区社協ではメッセージカードや電話で安否確認を行うなど工夫した活動を続けた。

第3次地域福祉活動計画の事業を推進するため、取り組みスケジュールに沿って活動を推進したが、新型コロナの影響で13の取り組みにとどまった。

また、活動計画に係る地域福祉活動推進会議を開催して、進行管理、評価を行い、次年度に向けての改善につなげた。

#### (1) 地区社協の育成支援

地域に根ざした地域福祉活動を推進する地区社協への、相談・助言等の支援を行うとともに活動費の補助を行った。

##### ① 地区社協ブロック担当制による支援強化、地区社協会議への参加・支援

地区社協との連携を図るブロック担当職員(他業務と兼務)を配置し、各地区社協が行う各種地域福祉活動への助言や支援、情報提供を行った。新型コロナの影響もあったが、時間短縮や少人数制等を取り入れ、感染予防に努めながら地区社協事務局会議等へ参加した。

ブロック地区社協担当者会議の開催 年12回

##### ② ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実

##### ③ 地区社協課題解決ミーティングの開催 9地区

地区社協役員・事務局と、地区社協の運営や各地区の福祉課題について意見交換し、今後の活動を検討した。

##### ④ 地区社協運営・事業推進のための助成

地区社協育成補助金、地域福祉活性化事業助成金、福祉委員活動推進事業補助金、地区社協活動 啓発ふれあい事業補助金、食事サービス事業補助金、自治会型デイホーム事業補助金、ブロック地区社協育成補助金

#### (2) ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化

##### ① 福祉委員委嘱状交付式及び研修会 (中止)

##### ② 福祉委員スキルアップ研修会

【活動計画No.17】

開催日 11月18日(水)

会場 福井県自治会館 多目的ホール

内容 講義「気持ちをコントロールする方法を知る」

講師 オフィス上村 代表 上村 泰子 氏

参加者 95 名

③ 地域包括支援センター等関係機関との連携

地域包括支援センターと地区社協・市社協との連携を図った。一部、地域ケア会議に出席し、支援方法の協議やグループワークを行うなど、地域課題についての話し合いへの参加や、事業所対象の研修会に協力するなどした。

④ 地区社協単位で福祉委員と民生委員児童委員、自治会長、保健衛生推進員及び見守り関係者と研修、情報交換の場の設定 (33 地区 44 回)。 資料 2

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援の強化やコロナ禍でもつながりを絶やさないうえ、福祉委員の基本的な役割についての研修や、支え合いマップを使用しての情報交換会、地域包括支援センターとの連携、地区に応じた福祉委員及び見守り関係者のスキルアップのための研修会、防災関連の講座等を行った。

⑤ コロナ禍での工夫した自治会型デイホーム事業、食事サービス事業を通じた見守りの実施

⑥ 支え合いマップ作成のためのツールの提供および活用の支援

福祉委員・民生委員児童委員等合同研修会でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援のための媒体として、支え合いマップを希望する地区へ提供した。

令和 2 年度末現在、37 地区が支え合いマップを活用している。

⑦ 福井市あんしん見守りネットワークへの協力

地域団体（自治会、民生委員児童委員、地区社協、保健衛生推進員等）と各種協力事業者（新聞配達、運輸運送業者、ガス・水道事業者、介護サービス事業者など）による高齢者などへの見守りネットワーク連絡会で行った調査回答に協力した。

(3) 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援

新型コロナの感染拡大防止に努め、理事会、連絡会、ブロック会議を通じ市社協と地区社協の連携を深めた。地区社協相互の情報交換を図りながら、地区社協連絡協議会を支援した。

① ブロック地区社協活動補助金の交付

② 地区社協連絡協議会理事会の開催 5 回 (4 月、5 月、8 月、12 月、3 月)

③ 広報紙「むすんでひらいて」の発行 3 回 (6 月、12 月、3 月)

④ 地区社協活動説明会 詳細版 (中止)

⑤ 地区社協会長情報交換会

開催日 7 月 15 日 (水)

会場 福井県社会福祉センター 第 1、2 研修室

内容 地区社協活動の基本説明と情報交換

テーマ 新型コロナ関連

「新しい生活様式に伴う地区社協の見守り活動を考える」

参加者 地区社協会長 33 名

⑥ 見守り活動に関する研修会

【活動計画No.19】

ア 役職員向け

開催日 8 月 11 日 (火)

会場 福井県自治会館 202、203 研修室

内容 講義「お宝探しの全国的な事例と今後の地域づくりに生かす方法を学ぶ研修」

講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏  
 参加者 地区社協連協理事及び市社協ブロック担当者 10 名  
 イ 地区社協向け

開催日 8月11日(火)  
 会場 福井県自治会館 多目的ホール  
 内容 講義とグループ討議「お宝探しから始まる支え合い」  
 講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏  
 参加者 地区社協関係者 61名

(4) 地区社協活動 啓発・ふれあい事業

資料3

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ふれあい福祉まつりを開催できない地区が多数を占めたが、地区社協の存在の周知、地区社協活動の理解、活動への参加を勧誘することを目的に、各地区社協で参加交流事業、広報事業を行った。

① ふれあい福祉まつり

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、5地区が規模を縮小し開催した。

② 交流・ふれあい事業

地区の実情に応じて、児童と高齢者の交流事業等を開催した。

③ 地区広報

各地区社協の活動を地区社協だよりやパネル製作で広報した。

(5) 各種地域福祉活動の推進

① 実践につながる社会貢献活動セミナー SDGs編(中止)

【活動計画No.6】

② 社会貢献活動の事例紹介

コロナ禍でも企業の社会貢献活動を推進するため、当会のホームページ上で市内企業・事業所の社会貢献活動の事例紹介を行った。(2社)

③ 子ども福祉委員事業の実施

子どもたちに地域の見守り活動に参加してもらうことで、お年寄りの存在や大切さを感じてもらうことを目的に、コロナ禍でも地域と交流できるよう工夫しながら活動を行った。

実施校 鷹巣小学校 4年生(1クラス)

期間 令和2年7月~12月

内容 事前学習(講話や体験学習)、子ども福祉委員活動ノートを活用した地区社協や保護者との感想のやり取り、フレイル予防体操チラシの作成、紙芝居の作成と朗読動画の撮影

※フレイル予防体操チラシと紙芝居朗読動画は、地区内の自治会型デイホーム会場で活用

協力者 鷹巣小学校、鷹巣地区社協、鷹巣地区自治会型デイホーム、保護者、地域の高齢者等

④ 中高生向けまちづくりワークショップの実施

【活動計画No.4】

「みつける！考える！福祉のまちづくりワークショップ」

	学校名・団体名	実施日	参加者
1	宝永小学校4年生(1クラス)	11月6日(金)	33名
2	豊小学校4年生(3クラス)	12月8日(火)、 9日(水)、10日(木)	79名
3	福井市ジュニアリーダーズクラブ、地区ジュニアリーダー	11月22日(日)	13名



- ⑤ ボランティア団体コーディネーション講座の開催 【活動計画No.19】  
 円滑なグループ運営や仲間を引き込むために必要なコーディネーションの考え方とスキルを学んだ。講座の中で情報交換を行い、ボランティア団体同士が交流する機会となった。

開催日 10月24日(土)  
 会場 福井市民福祉会館 ボランティアルームA  
 内容 講義、グループワーク  
 講師 認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会  
 副代表理事 青山 織衣 氏  
 参加者 13団体16名

- (6) 地域福祉を担う人材育成  
 新型コロナウイルス感染拡大により食事サービス従事者研修会は中止となったが、ホームページに衛生管理に関する記事を掲載した。

- (7) 社会参加、交流の場

- ① 中央いきいきサロン 【活動計画No.10】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障がい者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月～6月5日、9月1日～11日を休止とした。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、小物作り、クリスマス会等	毎週金曜日 13:00～15:30 実施回数 37回 会場 ボランティアルームA	延べ434名 (前年度延べ76名)

- ② オープンサロン ふらっとベル 【活動計画No.10】

11月から、年齢や障がいの有無に関わらず、いつでも誰でも気軽に集うことのできる場として、ショッピングセンターの空きスペースを活用したサロンをショッピングシティ・ベルに設けた。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月～6月15日、9月1日～14日を休止とした。

内容	実施日時と回数	備考
買物ついでの休憩、おしゃべり、ちょっとした困りごと相談等	毎週火～木曜日 13:00～16:00 実施回数 108回	延べ1,292名 (前年度延べ708名)
特別企画 東日本大震災から10年 岩手県陸前高田市復興写真パネル展	3月2日(月)～3月11日(木)	3月9日(火)～11日(木)まで希望の灯りを点灯

(協力いただいた社会福祉法人) 一乗谷友愛会、おおた福祉会、新清会、竹伸会

- (8) 第3次地域福祉活動計画の推進

第3次地域福祉活動計画の13の取り組みについて、企画、調整、実施を行った。

資料4

- ① 地区社協での実施に向けた働きかけや協議  
 ② 地域福祉活動推進会議

開催日 12月3日(木)  
 会場 福井市民福祉会館 ボランティアルームA  
 内容 第3次地域福祉活動計画推進状況と令和3年度の予定他

## 2 自治会型デイホーム事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止期間が約3か月間に及んだ。そこで、参加を控えている利用者向けに「おうちでもデイホームセット」を活用し、協力ボランティアの協力を得ながら見守り活動を兼ねた介護予防、フレイル予防の普及啓発に取り組んだ。

また、デイホーム実施時は感染予防対策を十分に行いながら、安全で安心して参加できる環境づくりやデイホームメニューを行った。

### (1) 実施地区と実施回数・実施箇所数

資料5

- ① 実施地区 49地区(51区域)で実施
- ② 実施回数・実施箇所数

実施回数	延べ 3,480回	(前年度 延べ 3,796回)
実施箇所数	454か所	(前年度 541か所)
- ③ 参加人数

参加人数	延べ 39,257名	(前年度 延べ 65,086名)
利用者数	延べ 28,961名	(前年度 延べ 47,001名)
実人数	5,963名	(前年度 9,420名)
協力者数	延べ 10,141名	(前年度 延べ 15,865名)
その他	延べ 155名	(前年度 延べ 2,220名)
- ④ 参加率

65歳以上参加率	7.7%	(前年度 12.1%)
75歳以上参加率	10.0%	(前年度 16.2%)

### (2) 実施内容

- ① 必須メニュー  
転倒骨折予防を目的とした「ふくいのだんどこ体操」と、認知症予防基本メニューを実施した。  
また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、参加者に配布して介護予防、健康づくりへの意識を高めた。
- ② 通常メニュー  
感染予防対策を講じながら、毎年実施する利用者アンケートも参考に、健康体操やレクリエーション・ゲーム・創作活動などを行った。デイホームの中止が相次ぐ中、自宅でも取り組める体操などを取り入れ、フレイル予防につながる内容を行った。
- ③ 防火教室、交通安全教室、消費者出前講座

消防局	防火・救急法教室	11地区	延べ 24回
警察署	交通安全教室	13地区	延べ 40回
市地域交通課	交通安全教室	15地区	延べ 52回
市消費者センター	出前講座	7地区	延べ 14回
市政出前講座		1地区	延べ 7回
- ④ ふくい市民国際交流協会「国際交流事業」  
福井市内に在住の外国人(インドネシア、ペルー、ロシア)との交流事業を実施した。4地区 4回
- ⑤ 「おうちでもデイホームセット」を活用した見守り及びフレイル予防を実施した。  
中止となった会場エリアの利用者や参加を控えている利用者を対象に、間違いさがしや創作キットなどの脳トレ資料と健康情報、自宅でも取り組める体操な

どの資料を組み合わせ「おうちでもデイホームセット」として配布。見守り活動を兼ねた活動として行った。

実施地区 39 地区  
 実施者 延べ 3,664 名  
 協力者 延べ 505 名

(3) 自治会型デイホーム事業運営委員会の開催  
 各地区社協単位で開催 全49地区社協 計113回

(4) 会議・研修会の実施

① 専任職員定例会の開催 年8回（うち1回は書面開催）

② 専任職員採用予定者研修  
 2月16日(火)～19日(金) 4日間 新規採用 6名

③ 専任職員研修会

7月20日(月) 専任職員47名  
 事前課題・情報交換 「デイホーム中止期間中の取り組み、課題について」

9月28日(月) 専任職員47名  
 講義・実技 「コロナに負けるな！フレイル予防」  
 講師 福井市フレイルトレーナー  
 理学療法士 細川 昌樹 氏

11月30日(月) 専任職員47名  
 講義・実技 「コロナに負けるな！ステイホームでも気軽にできる運動」  
 講師 NPO 法人生涯体育学習振興機構  
 理事長 漆崎 由美 氏（健康運動指導士）

(5) 利用促進事業

DVD プレーヤー及びプロジェクター、スクリーン等を貸し出し、各種講座を開催した。また、教養講座として、介護予防のための体操講座、フラワーアレンジメント講座や和菓子講座等を開催し、利用促進を行った。

貸出実績 7 回（前年度 11 回）  
 教養講座回数 28 回（前年度 31 回）

### 3 ふれあい食事サービス事業

希望するひとり暮らし高齢者等の健康増進、孤独感の解消、見守り活動を目的に49地区社協が実施主体となり食事サービス事業を実施した。

今年度はコロナ禍で、公民館の使用が制限されたことから調理ではなく、業者の弁当を配食した地区が多かった。

(1) 実施回数、食数 ※（ ）内の数字は前年度実績

実施地区	49 地区	
実施回数	延べ 337 回（473 回）	
形態	配食	延べ 336 回（394 回）
	会食	延べ 1 回（79 回）
提供食数	延べ 12,296 食（17,284 食）	
利用実人数	2,442 名（2,959 名）	
協力者数	延べ 3,673 名（5,261 名）	
運営委員会開催	延べ 128 回（173 回）	

- (2) 衛生管理・食中毒予防対策  
使い捨て手袋、マスクを各地区に配布。
- (3) 地域福祉リーダー研修会（中止）

#### 4 ボランティアセンター事業

新型コロナウイルス感染の拡大防止で、外出制限や自粛の生活が長く続き、誰かの役に立ちたい気持ちを形にし、お互いを思いやり、みんなでこの局面を乗り越えるための「手づくりマスクプロジェクト」を実施した。多くの方からマスク作成、材料や活動資金の寄附等、多くのご協力をいただいた。

また、新型コロナの感染拡大防止策を講じながら、ボランティアルーム等の利用促進やボランティア講座を開催し、活動の機会の提供を行った。

さらに、地域ぐるみで福祉教育を推進する時は、学校等と協議しながら感染予防対策を十分に行い、福祉体験プログラムの充実にも努めた。

市総合ボランティアセンターの運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

##### (1) ボランティア活動推進委員会の開催

ボランティア活動、福祉教育の普及と推進を図るために、各種関係機関で委員構成しているボランティア活動推進委員会を開催した。

ボランティア活動推進委員会

開催日 8月19日（水）

- 内 容
- ・令和元年度 事業報告と成果
  - ・令和2年度 現時点での事業報告と今後の予定
  - ・第3次地域福祉活動計画に基づいた事業について

##### (2) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数 1,003件（前年度 642件）

② ボランティアの需給調整 ※（ ）は前年度の数字

項目	件数	備考
1. ボランティア相談	529件 (379件)	
① ボランティア活動希望	211件 (96件)	
② ボランティア派遣希望	142件 (220件)	
③ その他の相談	176件 (63件)	企画相談、預託等
2. ボランティア相談マッチング数	373件 (290件)	
① 活動紹介	246件 (191件)	
② 情報提供	89件 (46件)	
③ 他機関紹介	1件 (5件)	
④ 広報	8件 (26件)	
⑤ その他	29件 (22件)	

③ 福井市社協ボランティアセンター新規登録者数 19名（男2名、女17名）

④ ボランティア活動者の把握数 ※（ ）は前年度の数字

個人	—	389名 (1,355名)
団体	275団体 (306団体)	9,380名 (10,548名)
合計	275団体 (306団体)	9,769名 (11,903名)

⑤ 物品の預託

個人・団体・企業等から、飲料水・タオル・使用済み切手・使用済みテレカ他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者等へ払い出しを行った。

⑥ ボランティア講座の開催

ア ファシリテーター養成講座

開催日 9月26日(土)

会場 福井市民福祉会館 ボランティアルームA

内容 ファシリテーションのコツを学ぶ(講義、演習)

講師 ノーム環境教育事務所 代表 坂本 均氏

参加者 18名

イ ゲスト講師とともに企画する福祉教育

【活動計画 No. 3】

開催日 10月8日(木)

会場 福井市民福祉会館 ボランティアルームA

内容 福祉教育の現状、実践報告、情報交換

講師 森本 展広氏

ウ 男性のボランティア講座(3回シリーズ)

【活動計画 No. 9】

開催日 10月19日(月)、11月1日(日)、11月9日(月)

会場 福井市民福祉会館 ボランティアルームA、福井市SSTらんど

内容 講義や演習を通して、昔遊びをツールに子どもたちと交流

講師 NPO法人森のほうかごがっこう 代表 正木 宏幸氏

参加者 8名

エ ボランティア団体コーディネーション研修

【活動計画 No. 19】

※詳細は9Pに掲載

オ 高校生等ボランティア体験講座

【活動計画 No. 7】

(ブックサイクルと絵本の読み聞かせ)

開催日 11月23日(月・祝)

会場 オープンサロン ふらっとベル

参加者 高校生8名

(スマホアプリを活用して文化・情報のバリアフリーを学ぶ)

開催日 12月20日(日)

会場 セーレンプラネット、福井市総合ボランティアセンター研修室

内容 目の不自由な方の暮らしと社会参加、文化施設等のアクセシビリティ、ガイドヘルプ体験、見えにくさ体験

共催 福井市自然史博物館分館(セーレンプラネット)

協力 NPO法人福井芸術・文化フォーラム、福井県視覚障がい者支援ネットワーク 羽二重ねっと

講師 岡島 喜謙氏

参加者 高校生、大学生、社会人14名

カ お話し相手ボランティア養成講座(3回シリーズ、オプション)

開催日 2月7日(日)、2月10日(水)から25日(木)、3月7日(日)、3月21日(日)

会場 福井県社会福祉センター視聴覚室、福井市民福祉会館 ボランティア

アルームA、オープンサロン ふらっとベル  
 内 容 講義、演習、実習、オプション（懇談会）  
 講 師 ヒューマンサポートセンター・ネスト 代表 藤田 正一 氏  
 参加者 18名

キ ボランティアコーディネーション研修オンラインセミナー  
 （ボランティア受入スキルアップ研修、市総合ボランティアセンター共催）

開催日 2月18日（木）  
 内 容 講義、グループワーク  
 講 師 認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会  
 事務局長 後藤 麻理子 氏  
 参加者 22名

⑦ ボランティア情報の発信 【活動計画 No. 16】

ア ボランティア情報紙の発行  
 回 数 年6回発行  
 部 数 3,000部（ただし、社協だより発行月は3,700部）  
 設置先 金融機関、公民館、地区社協、高等学校等 284か所  
 イ ホームページ、フェイスブックによる情報提供（随時）

⑧ 手づくりマスクづくりプロジェクトの実施

期間 第1弾 5月7日（木）～5月29日（金）  
 第2弾 7月1日（水）～7月20日（月）  
 内容 手づくりマスク、メッセージカードの作成、材料の寄附、活動  
 資金の寄附、折り紙リボンづくり、マスクお届け準備  
 手づくりマスク 3,330枚（子ども用1,200枚、大人用2,130枚）  
 （内訳）第1弾 1,949枚（子ども用790枚、大人用1,159枚）  
 第2弾 1,381枚（子ども用410枚、大人用971枚）

贈呈先 合計75カ所（団体・事業所・児童館）  
 福井市母子寡婦福祉連合会、女性の社会生活活動部フルード、  
 福井市子どものまなび支援事業（学習支援教室）、訪問介護  
 事業所24事業所、放課後等デイサービス事業所17事業所、  
 介護老人福祉施設9施設、地域密着型介護老人福祉施設7施設、  
 児童館・児童クラブ15館

参加数（個人・団体）

	マスクの 作り手	メッセージ カード作成	材料 寄附	寄附金	折り紙 リボン	マスク お届け準備
市内	84	22	24	13	8	22
県内	14	3	2	1	1	4
県外	9	2	2	0	0	0
合計	107件 (3,330枚)	27件 (920枚)	28件	14件 (83,500円)	9件	26件

目標設定型寄附を募り、マスク作りの材料の購入費（生地、ゴム紐）や作り手  
 へマスク材料の送料等に活用した。

目標額 50,000円 寄附額 83,500円

⑨ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設およびボランティア募集について

市内在住の障がい者や高齢者の非課税世帯で、同居または近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に12月1日から翌年3月15日まで開設した。※( )は前年度の数字

雪かきボランティア相談数	131件(23件)
ボランティア活動希望者数	39名(14名)
ボランティア依頼世帯数	25世帯<障がい者16世帯、高齢者9世帯> (7世帯)
ボランティア活動日数	7日(0日)
ボランティア活動者数(延べ)	72名(0名)

⑩ ボランティア連絡協議会への支援

ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。

ア 感染症予防講演会「新型コロナウイルスから、命を守る正しい知識」

開催日 11月15日(日)

会場 福井市民福祉会館 小ホール

イ ユニークダンスパーティー(コンサート)

開催日 12月13日(日)

会場 福井市民福祉会館 小ホール

ウ 「10年目の陸前高田市の現状」&第2回ボラ連杯レクレーションボッチャ大会(東日本大震災チャリティー)

開催日 3月14日(日)

会場 福井市民福祉会館 小ホール

⑪ 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録利用申請(令和3年3月31日現在)

市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録(42団体)

登録団体の内、ボランティアルーム設置の保管庫の利用(23団体)

登録団体の内、ボランティアルーム設置のコピー機の利用(21団体)

ボランティアルーム利用人数(5,517名)

⑫ ボランティア活動保険

ア 加入受付数5,806名(前年度6,793名)

イ ボランティア保険等の加入のための普及啓発

⑬ 車椅子の貸出し41件(前年度108件)

⑭ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し 0件(前年度6件)

⑮ 「福井市ボランティアネット」の運営協力

(3) 福祉教育の推進

① 学校での福祉体験講座などへの支援協力

相談・コーディネート等66件(前年度83件)

② 学校での福祉体験講座(講師) 延べ51校(前年度54校)

③ 企業での福祉体験講座(講師) 延べ1社(前年度0社)

④ 中高生向けまちづくりワークショップの実施

【活動計画No.4】

※詳細は8Pに掲載

⑤ 教職員課題別研修(中止)

【活動計画No.3】

⑥ 福祉教育サポーター懇談会

開催日 3月12日(金)

会 場 福井市民福社会館 ボランティアルームB  
 内 容 令和2年度の活動報告と懇談会  
 参加者 5名

⑦ 市内県立高校への学校訪問（ボランティア活動の普及啓発活動）

～各校のボランティア活動の現状と今後の活動について情報交換～【活動計画 No.7、16】

	学校名	学校訪問日
1	藤島高等学校	9月9日(水)
2	高志高等学校	9月2日(水)
3	羽水高等学校	8月26日(水)
4	足羽高等学校	9月17日(木)
5	福井商業高等学校	9月9日(水)
6	北陸高等学校	8月19日(水)
7	啓新高等学校	8月28日(金)

(4) 関係機関団体との連携、協働活動の推進

福井市総合ボランティアセンター運営委員会への参加

第1回 開催日 8月14日(金)

内 容 減免認定団体の審査、総合VC令和元年度事業報告、令和2年度事業計画

第2回 開催日 3月4日(木)

内 容 減免認定団体の審査、総合VC事業報告、次年度の事業計画

(5) 災害への対応

市災害ボランティアセンター連絡会への参画

第1回 開催日 8月5日(水)

内 容 令和元年度事業報告と令和2年度事業計画、新型コロナウイルス感染症の対応について 他

第2回 開催日 9月30日(水)

内 容 災害ボランティアセンター連絡会内部研修について 他

第3回 開催日 2月12日(金)

内 容 令和2年度の事業報告と令和3年度事業計画(案)について  
内部研修の結果について

研修会への参画

- ・嶺北市町担当者研修会(11市町の行政職員及び社協職員)

開催日 10月23日(金) 15時～17時

- ・内部研修会(構成団体対象)

開催日 10月23日(金) 19時～21時

内 容 講義:「いざ」は「日々」の先にある

～本当に機能する「連携・協働」について考える～

情報交換

講 師 認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会

副代表理事 青山 織衣 氏



## 5 共同募金配分金事業

福井市共同募金委員会からの助成を受け、市社協で広報啓発事業や見守り支援事業、地区社協では地域福祉活性化事業などを行った。

### (1) 広報啓発事業

- ① 社協だより「まごころ」の発行  
年4回 各82,500部（全戸配布）
- ② ボランティア情報紙の発行  
回数 年4回発行 ※6回中4回分を発行  
部数 3,000部（ただし、社協だより発行月は3,700部）

### (2) 見守り支援事業（P7～8参照）

- ① 福祉委員設置助成  
福祉委員設置地区 49地区（1,605名）  
福祉委員活動推進費補助 1名につき2,000円
- ② 福祉委員委嘱式・新任福祉委員研修会（中止）
- ③ 支え合いマップ作成  
地区の要望に応じて、地域支え合いマップを作成した。

### (3) 地域福祉活性化事業助成 36地区 1,400,000円 前々年度大口募金実績額に基づき地区社協に助成した。

### (4) 歳末たすけあい配分金事業

- ① 地域防災を考える講座（中止） 【活動計画 No.18】
- ② 地域福祉活動発表会（中止） 【活動計画 No.13】

### (5) 緊急災害援護配分金

50,000円（火事見舞い 10,000円×2件、30,000円×1件）

## 6 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等に対し、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理及び書類等の預かりを行い、判断能力に不安のある方々の地域生活を支援した。精神障がい者や触法障がい者、認知症の親と知的（精神）障がい者の同居世帯に対する相談支援等、複合的に課題を抱えた困難ケースについても関係機関と連携して対応した。

### (1) 利用状況

- ① 契約件数累計 551件（うち令和2年度の新規契約件数 35件）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
321件	95件	126件	9件	551件(516件)

- ② 現利用者件数 148件（令和3年3月31日現在）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
56件（26）	36件（9）	55件（24）	1件（0）	148件(141件)

※利用者のうち生活保護受給者59名（39.9%）

※（ ）内は生活保護受給者

(2) 相談状況

本事業の利用に関するもの				合計（前年度）
認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
1,449 件	667 件	1,150 件	35 件	3,301 件 (5,883 件)

(3) 成年後見制度への移行状況

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
9 件	0 件	2 件	0 件	11 件 (12 件)

(4) 広報啓発活動

当会 Web サイトで事業広報ページ掲載

## 7 生活福祉資金貸付事業

失業者世帯や低所得世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度に関する相談を受けた。今年度は、新型コロナ特例貸付のため臨時相談員を増員するなどし、所得が減少した世帯の相談を受付けた。また、県社協による滞納案件の償還指導等に協力した。

(1) 通常貸付

相談件数	延べ	234 件	(前年度	531 件)
申請件数	延べ	46 件	(前年度	38 件)
貸付件数	延べ	45 件	(前年度	28 件)
市内貸付件数（県社協受付分含）		53 件	(前年度	47 件)
（内訳）総合支援資金		1 件	(前年度	0 件)
福祉資金		9 件	(前年度	4 件)
緊急小口資金		21 件	(前年度	23 件)
教育支援資金		14 件	(前年度	12 件)
臨時特例つなぎ資金		8 件	(前年度	8 件)
貸付総額	6,587,630 円		(前年度	7,222,716 円)

(2) 新型コロナ特例貸付

貸付件数	延べ	3,003 件
（内訳）緊急小口資金		1,490 件
総合支援資金		929 件
総合支援資金（延長）		429 件
総合支援資金（再貸付）		155 件
貸付総額	1,038,470,000 円	

## 8 法人後見事業

令和 2 年度当初に福井家庭裁判所へ本事業の要綱等を提出し、成年後見人等を受任できる認可を受けた。その上で、本会が法人として成年後見制度に基づく成年後見人等を受任し、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行った。

(1) 利用状況

① 受任件数累計 1 件(うち令和 2 年度の新規受任件数 1 件)

成年後見	保佐	補助	合計
1 件	0 件	0 件	1 件

② 現受任件数 1 件（令和 3 年 3 月 31 日現在）

成年後見	保佐	補助	合計
1 件	0 件	0 件	1 件

(2) 相談件数 10 件（一般的な制度についての相談、受任に関する相談等）

(3) 受任調整件数 3 件

### Ⅲ 子ども・子育て支援事業

<拠点区分3>

#### 1 児童館事業

地域における児童健全育成の活動拠点としての機能強化を図るため、全児童館において土曜日を中心に季節行事、伝統行事及び地域と連携した行事、運動スポーツ、造形創作を年 10 回以上実施した。また、児童館だよりの自治会回覧や児童館ホームページを通じて児童館の周知を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため 7 月まで臨時休館した。8 月から土曜日のみ、11 月から平日も来館者の受入れと、段階的に再開した。

(1) 児童館の管理運営（合計 25 館）

資料 6

つばき、ひまわり、さぎんか、とちのき、もくせい、とまと、すいせん、すずらん、ふじ、もみじ、こすもす、くすのき、たちばな、あさがお、たんぽぽ、すみれ、どんぐり、くるみ、つくし、すぎのこ、まきやま、たけのこ、さくらんぼ、ちゅうりっぷ、まつのき

① 職員体制 館長 25 名、児童厚生員 49 名

代替厚生員 1 名、主任支援員 2 名

② 開館日 月～土曜日（日曜日、祝日及び年末年始は休館）

③ 開館時間 12:00～18:00（長期休業中は 8:30～18:00）

④ 利用者数 延べ 245,918 名（前年度 300,720 名）

（内訳）一般来館者数 延べ 13,141 名（前年度 44,445 名）

放課後児童会利用児童 延べ 232,777 名（前年度 256,275 名）

⑤ 地域連携行事参加者数 延べ 19,885 名（前年度 74,775 名）

⑥ ボランティア活動者数 延べ 1,250 名（前年度 1,250 名）

※実績には、げんキッズ育成事業の実績も含む。

(2) 児童館長会議の開催（6 回）

開催日 4 月 28 日（火）、6 月 16 日（火）、9 月 15 日（火）、11 月 10 日（火）

1 月 26 日（火）、3 月 2 日（火）

(3) 児童館職員研修の実施

① 児童館館長研修会

開催日 9 月 15 日（火）

会場 フェニックス・プラザ 地下大会議室

内容 ハラスメント研修

講師 社会保険労務士 河合 安子 氏

参加者 館長、クラブ長 30 名

② 児童館職員現任研修会

・第1回

開催日 7月21日(火)

会場 フェニックス・プラザ 地下大会議室

内容 「上手なほめ方・叱り方」～いい場所はみんなで創る～

講師 福井市教育委員会事務局学校教育課 観 寿子 氏

参加者 館長、厚生員、クラブ長 83名

・第2回

開催日 10月27日(火)

会場 福井市民福祉会館 小ホール

内容 「マルトリートメント」って何ですか？

講師 福井大学子どもまごころ発達研究センター 榎原 信子 氏

参加者 館長、厚生員、クラブ長、子育て支援専任職員 93名

③ 令和2年度新採用職員フォローアップ研修

開催日 12月1日(火)

会場 福井市民福祉会館 セミナールーム

内容 児童館・放課後児童会の業務についての質問・回答  
会計・庶務について

講師 児童館担当職員

参加者 館長、厚生員 7名

(4) 児童館事業の広報活動

① 児童館だよりの自治会回覧

② 市社協ホームページで各児童館活動紹介

③ 児童館のしおり「遊びにいこうよ！みんなの児童館」発行

④ 保健衛生推進員を通じた子育てひろばチラシの配布

(5) 施設の修繕

すいせん児童館図書室床修繕他 19件

(6) げんキッズ育成事業の運営

小学校の余裕教室を活用して学校内で児童館事業を実施し、小学生を対象とした地域の放課後の居場所づくりを行った。

① 開設場所 春山小学校「さくらじどうかん」、足羽小学校「あじさいじどうかん」、旭小学校「さつきじどうかん」

② 職員体制 館長3名、児童厚生員6名

③ 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)

④ 開館時間 12:00～18:00(長期休業中は8:30～18:00)

⑤ 利用者数 延べ 19,209名(前年度 27,293名)

(内訳) 一般来館者数 延べ 958名(前年度 3,814名)

放課後児童会利用児童 延べ 18,251名(前年度 23,479名)

⑥ 地域連携行事参加者数 延べ 855名(前年度 5,114名)

⑦ ボランティア活動者数 延べ 278名(前年度 278名)

(7) 移動児童館の運営

もくせい児童館を拠点として、東足羽3地区の公民館、集会所等を利用して児童厚生員が出向いて移動児童館事業を実施した。

巡回会場	一乗、上文殊、六条
実施回数	延べ 2回 (前年度 6回)
利用児童数	延べ 25名 (前年度 182名)

## 2 放課後児童会事業

児童館に放課後児童会を開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない児童を預かり、生活の支援を行った。新型コロナウイルス感染拡大による小学校の臨時休業に伴い、4月1日から5月31日までは、利用自粛要請を行いながら受け入れを行った。1月9日からの大雪により小学校が1月12日から1月16日まで臨時休校となったが、放課後児童会は1月12日～13日まで臨時休会し、14日～16日までは朝から開所し、家庭でみることが困難な場合に限り受け入れた。

- (1) 放課後児童会の開設 28会 (児童館で開設)
- (2) 登録児童数 1,446名 (短期含む) (前年度1,486名)
- (3) 支援員研修会
  - 開催日 11月17日(火)、27日(金)
  - 会場 福井市民福祉会館 小ホール
  - 内容 子どもの権利を尊重した子どものかかわり方
  - 講師 金沢学院大学文学部教育学科 助教 竹澤 賢樹 氏
  - 参加者 支援員 172名
- (4) 放課後児童支援員認定研修の受講 15名 (累計202名)
- (5) 障がい児等の専門カウンセラーの派遣
  - 派遣件数 56件 (前年度100件)
- (6) 不審者対応
  - 全館で緊急通報装置のメンテナンス、作動訓練
- (7) 令和3年度入会希望児童の調整
  - さざんか放課後児童会(木田地区)、くるみ放課後児童会(社北地区)において、定員を上回ったため、入会の抽選を行った。抽選を外れた児童は、同校区内の他の児童クラブに入会した。

## 3 放課後児童クラブ事業

木田小学校、日之出小学校、麻生津小学校内で児童クラブを開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない中高学年の児童を預かり、生活の支援を行った。

放課後児童会事業と同様、新型コロナウイルスや大雪への対応を行った。

- (1) 児童クラブの開設 3クラブ
- (2) 登録児童数 68名 (短期含む) (前年度71名)
- (3) 放課後児童支援員認定研修の受講 1名 (累計4名)

#### 4 地域子育て支援拠点事業

子育て中の親子が気軽につどい、一緒に遊びながら交流ができる場所として、福井市清水健康管理センター内で子育て支援室「赤とんぼ」を運営している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から5月まで休所したが、6月からは利用者の受け入れ人数と時間を制限して再開した。

##### (1) 実施内容

主に3歳までの乳幼児とその保護者が気軽に集う交流の場を設けるとともに、専任職員4名を配置し、相談支援などを行った。

(2) 開催日 毎週月～金曜日 10:00～16:00

(6月以降は10:00～正午に4組、13:00～15:00に3組を受け入れ)

(3) 開催日数 年間203日

(4) 利用者数 延べ2,399名(前年度 8,813名)

(5) 行事内容  
6月11日(木) 美尻トレーニング  
6月24日(水) チャイルドシートのはなし  
8月31日(月) 保育カウンセラー訪問  
10月6日(火) 栄養士さんに聞いてみよう  
10月7日(水) 何でも座談会  
10月13日(火) 働くための出張相談会  
10月21日(水) 孫育て講座  
11月17日(火) ほめ方教室  
11月26日(木) チャイルドシートのはなし  
11月27日(金) ミュージック・ケア  
12月4日(金) 防災について  
12月10日(木) がっちゃんのお話会  
12月17日(木) クリスマス会  
1月18日(月) 子どものための発達相談会  
2月15日(月) 美尻トレーニング  
2月24日(水) 歯科栄養士さんに聞いてみよう  
3月11日(木) ママもリラックス  
3月17日(水)～23日(火) お楽しみ週間  
毎月 お誕生カード

(6) 相談件数 78件(前年度 118件)

#### 5 子育て広場事業

児童館で、乳幼児とその家族の方々の遊びの場、交流の場として子育てひろばを開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、11月まで中止した。12月からは隔週、1月からは毎週開催した。

(1) 開催日 毎週木曜日 10:00～11:30(小学校の長期休業期間は除く)

(2) 開催数 309回(前年度 1,086回)

(3) 利用者数 1,589名(前年度 10,414名)

## 6 ことばの教室事業

ことばや発達が気になる就学前の幼児とその保護者を対象に『ことばの教室』を開設し、ことばの発達の遅れや発音等について、言語聴覚士や保育士による相談や継続的な療育を行いながら、医療機関受診や福祉サービス利用など、関係機関につなげた。また、必要に応じて、関係機関と情報交換や連携をとりながら適切な支援を行った。

- (1) 開設日 月～木曜日 9:00～17:00 (12/29～1/3 は除く)  
第1・第3土曜日 9:00～12:00
- (2) 利用者数 延べ998名(実人数174名)

## IV 駐車場運営事業

<拠点区分4>

福井市毛矢3丁目7番4号の土地(遺贈地)を貸駐車場(4台分)として賃貸した。  
駐車場賃貸収入 4台分 216,000円(前年度 240,000円)

## V 自動販売機設置運営事業

<拠点区分5>

市民福祉会館2台 売上 94,592円(前年度 143,668円)  
上記のほか、株式会社ウララコミュニケーションズ、湊地区社会福祉協議会・湊公民館、啓蒙公民館、株式会社カワカミパワーシステムの4カ所に自動販売機を設置いただき、売上の一部19,394円を寄附していただいた。

## VI 関係機関団体への支援・協力

### 1 各種委員会・会議への参加協力(出席者)

- ・福井県社協理事(会長)
- ・福井県共同募金会理事(副会長)
- ・福井県共同募金会配分委員会委員(副会長)
- ・福井市社会福祉審議会委員(会長、事務局次長、地域福祉課長)
- ・福井市交通安全対策協議会(会長)
- ・福井市国民保護協議会委員及び幹事(会長、事務局次長)
- ・福井市防災会議委員及び幹事(会長、事務局次長)
- ・「社会を明るくする運動」福井市推進委員会委員(会長)
- ・公益財団法人福井市ふれあい公社評議員(会長)
- ・公益財団法人ふくしん地域振興協力基金評議員(会長)
- ・福井市民生委員推薦会委員(理事)
- ・青少年育成福井市民会議監事(副会長)
- ・福井刑務所視察委員会委員(副会長)
- ・福井市国民健康保険運営協議会委員(理事)
- ・福井市功労者選考委員会委員(評議員)
- ・福井県共同募金会福井市共同募金委員会運営委員(専務理事)
- ・福井市不死鳥のねがい推進協議会常任委員、委員(専務理事、評議員)
- ・福井市中央公民館運営審議会委員(事務局長)

- ・福井市空き家対策協議会委員（事務局長）
- ・福井市要保護児童対策地域協議会委員（事務局次長、総務企画課担当職員）
- ・福井市放課後子ども総合プラン運営委員会委員（総務企画課担当職員、児童館長）
- ・福井市児童クラブ連絡協議会理事（総務企画課担当職員）
- ・福井市学校不適応対策事業推進会議委員（児童館長）
- ・福井市地域福祉計画推進評価会議委員（地域福祉課長）
- ・福井市地域包括ケア推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市成年後見制度利用促進連携協議会（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者施策推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者差別解消支援地域協議会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者自立支援協議会全体会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者自立支援協議会居宅生活支援部会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市障がい者自立支援協議会地域移行・地域定着部会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市総合ボランティアセンター運営委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市災害ボランティアセンター連絡会座長、委員（事務局長、地域福祉課担当職員）
- ・福井市健康づくり推進協議会（地域福祉課長）
- ・福井市地域福祉計画推進連絡会（地域福祉課担当職員）
- ・福井市介護予防・生活支援サービス検討委員会（地域福祉課担当職員）
- ・福井市認知症施策検討協議会（地域福祉課担当職員）
- ・福井市消費者センター運営協議会（地域福祉課担当者）
- ・福井県内社協職員協議会役員（地域福祉課職員）

## 2 後援事業

- ・令和2年度福井市空き家無料相談会
- ・秋のわたぼうしコンサート I N福井
- ・令和2年度 福井市医師会 第19回 市民公開講座
- ・新型コロナウイルス感染症予防講演会
- ・令和2年度福井市空き家無料相談会【第2回】
- ・感染症予防講演会「新型コロナウイルスから、命を守る正しい知識」
- ・支援者のための障害児・者性教育セミナー
- ・第42回ユニークダンスパーティー（コンサート）
- ・「みんなで舞台にたとう！シーズン15」アゲイン ～みなぶたには今を動かす力がある～
- ・「全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画」『咲む』上映会（福井市）
- ・「10年目の陸前高田市の現状」&第2回ボラ連杯レクレーションボッチャ大会（東日本大震災チャリティー）

## 3 社会福祉援助技術現場実習等の受け入れ

- (1) 福井県立大学 1名  
10月1日（木）～11月9日（月）



- 社会福祉士受験資格修得のための実習  
 (2) 福井市医師会看護専門学校 32名  
 自治会型デイホーム事業での実習  
 8月24日(月) オリエンテーション 32名  
 8月25日(火)～8月28日(火) 16名  
 9月1日(木)～9月11日(金) 中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

4 三市(福井市・富山市・金沢市)社協懇談会  
 中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

Ⅶ 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、各種団体の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動を実施した。一般募金、地域歳末たすけあい募金の実績はいずれも、目標額に対しても、前年度実績に対しても下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症予防のため、福井市共同募金委員会としての街頭募金は中止した。

【一般募金】 (単位 円)

募 金 種 類	目標額	実績額	差異額
戸 別 募 金	10,800,000	10,785,846	△14,154
大 口 募 金	8,000,000	6,857,985	△1,142,015
街 頭 募 金	243,000	3,863	△239,137
学 校 募 金	800,000	693,379	△106,621
職 域 募 金	2,350,000	2,224,479	△125,521
法 人 募 金	640,000	1,035,063	395,063
その他の募金	669,000	1,009,655	340,655
合 計	23,502,000	22,610,270	△891,730

【地域歳末たすけあい募金】 (単位 円)

募 金 種 類	目標額	実績額	差異額
街 頭 募 金	340,000	0	△340,000
学 校 募 金	—	15,600	15,600
合 計	340,000	15,600	△324,400